

ベトナム・ニントゥアン省の再エネ成長モデル

2025 年 4 月 8 日 作成

カテゴリー ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナム・ニントゥアン省の再エネ成長モデル

2016 年から 2020 年にかけて、ベトナム国内のニントゥアン省では風力、太陽光、水力による電力プロジェクトが 44 件実施され、年間平均 24.1% の電力生産成長率を達成した。これらの再生可能エネルギー関連プロジェクトは、ベトナム経済社会の急速な発展を牽引し、同省の GRDP 成長率は年間平均 10.2% を記録し、全国でも高い成長率を誇る地域となった。2021 年から 2025 年にかけても、ベトナム政府の支援のもと、困難な状況にもかかわらず再生可能エネルギーは依然として経済成長の原動力となっている。

2024 年時点で、57 件の風力・太陽光・水力発電プロジェクトが運転を開始し、総発電容量は 3,749MW に達し、国内の再生可能エネルギー総発電量の約 6.7% を占める 8.7 億 kWh の電力を供給している。また、塩や農業との土地利用の最適化を進め、乾燥地の活用も実現している。再生可能エネルギー関連の税収は県の歳入の重要な柱となり、2024 年は 1,163 億ドンを貢献し、約 1 万 8,500 人の雇用創出にも寄与している。

さらに、ベトナム政府の方針のもと、家庭用太陽光発電設備も推進されており、2025 年 1 月末時点 で 3,642 件、393MWp 分の設置が完了している。こうした取り組みにより、ニントゥアン省は温室効果ガス排出の 97.9% 削減を実現し、ベトナム政府が COP26 で掲げた 2050 年までのカーボンニュートラルの目標にも貢献している。再生可能エネルギー分野は同省における経済成長、環境保全、雇用創出の柱として、今後も発展が期待されている。

以上